福島県花き振興計画の概要

「百花繚乱」 咲き誇れ　ふくしま花物語

生産額６４億円の達成

本県の主要品目の位置づけ（H29）

品目	作付面積（ha）	出荷数量（千本・千鉢）	生産額（億円）	主な出荷時期 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
きく	87（13位）	20,468（12位）	7.9						■	■	■	■	■	■	■
宿根かすみそう	48（2位）	5,412（3位）	6.4					■	■	■	■	■	■		
りんどう	32（4位）	4,520（4位）	1.3						■	■	■	■			
トルコギキョウ	21（6位）	3,553（8位）	4.8					■	■	■	■	■			
枝物類	136（8位）	5,738（12位）	2.5	■	■	■								■	■
鉢物類	26（14位）	2,613（15位）	11	■	■	■	■							■	■

きく：電照栽培により確実に盆、彼岸に出荷

○H37生産額目標　11億円へ

○課題

・作付面積減少
・年次開花期変動
・需要期の出荷量確保

○振興方策

・電照等の開花調節技術導入による需要期出荷と単価確保による経営リスク管理
・定植機、選花機等の導入による規模拡大

宿根かすみそう：長期安定供給体制を強化

○H37生産額目標　7.5億円へ

○課題

・作付面積減少
・高温による一斉開花
・需要動向の変化

○振興方策

・電照栽培技術導入による出荷期拡大
・高温対策資機材の導入による安定供給強化
・需要に応じた品種や染色等の導入推進

りんどう：切れ目のない品種リレー構築

○H37生産額目標　2.5億円へ

○課題

・作付面積減少
・株老化による単収低下
・年次開花期変動

○振興方策

・計画的な株更新と水田への導入推進
・需要期前後の品種による供給体制強化
・オリジナル普及品種導入による品種リレー

トルコギキョウ：消費ニーズに応じた産地形成

○H37生産額目標　9億円へ

○課題

・消費ニーズの多様化
・作付面積減少
・高温による品質の低下

○振興方策

・ニーズに応じた品種導入、産地育成
・浜通り等での産地再生と新たな産地育成
・環境制御技術の導入による品質向上

枝物類：実需者への特色ある品目の提案

○H37生産額目標　3億円へ

○課題

・広域な園地の管理作業
・高齢化による作付面積減少

主な品目
・サクラ、モモ、ウメ
・ユキヤナギ
・ユーカリ

○振興方策

・防除作業等の共同化
・特色ある品目・品種導入
・被災地域への導入推進

鉢物類：省エネ・低コスト生産とブランド力向上

○H37生産額目標　12億円へ

○課題

・生産・輸送コスト増大
・後継者不足による施設、栽培技術の継承

主な品目
・シクラメン
・ポインセチア
・カーネーション

○振興方策

・省エネ・低コスト生産推進
・施肥管理支援による品質向上

地域振興品目（カラー、ダリア、新鉄砲ユリ、低温開花性花き）

○課題

・各々特徴的な病害発生
・多くは周年生産が困難

○振興方策

・病害対策による安定供給
・周年生産へ品目の複合化促進
・日持ち性等の試験・成果普及

オリジナル品種（りんどう、カラー）

○目標

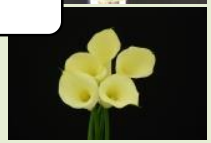
H29　6品種→H37　12品種
H29　4ha　→H37　8ha

○課題

・多様なニーズに応じた品種育成
・種苗供給体制の構築

○振興方策

・品種リレーの再構築
・戦略的な販売・ＰＲ



県で育成中の品種